2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	外科腫瘍学特論Ⅱ	上野 富雄

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2	選択	2	

目的

消化器外科関連臓器において適切な手術を実施するため，癌の発生，進展，転移の機序を理解し，その知識に基づいた癌治療について理解する。

授業到達目標

（１）癌の進展，転移と諸種分子生物学的因子の関与について理解できる。
（２）各因子の作用機序を説明できる。
（３）各因子の作用機序を証明する実験ができる。
（４）臨床応用を念頭においた癌制御の実験結果を想定できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分１	区分２	授業内容
1	毎週	月	18:00-19:00	上野 富雄	講義	[抄読会]	抄読会・研究カンファレンス [場所:本館棟６階カンファレンス室 5]

評価方法

（１） １年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（２） １年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
　　ただし，特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文 （症例）であること。
※２月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9780323299879, Sabiston textbook of surgery : the biological basis of modern surgical practice, [edited by] Courtney M. Townsend, Jr. ...[et al.], Elsevier, 2017

参考書

ISBN-9784498006492, 腫瘍免疫学, 藤原大美, 中外医学社, 2003
ISBN-9784758120210, がん生物学イラストレイテッド, 渋谷正史, 湯浅保仁編集, 羊土社, 2011

準備学習（予習・復習等）

（１）講義ごとの文献・論文を次回講義までに読み直すこと。
（２）外科腫瘍学に関する英語論文についてサマリーを作成する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。